

## 《 あ と が き 》

エアロゾルを医用に用うるにあたって、基本的に重要な問題が必ずしも十分に解明されているとは言いがたく、昨年、医用エアロゾル研究会が正式に発足した。斎藤英雄理事長はじめ気管食道科学会の胆入りで、この学会と密な関係をもって同時期に研究会をもつことになっている。エアロゾル療法は、しかし、鼻副鼻腔治療にも用いられ、頻度が高いことは衆知の通りで、この方面の研究者に積極的参加を要望したい。

なお、本研究会組織委員は下記のメンバーである。

岩井宏方（東京都）	内田 豊（慈大）	梅田良三（金沢大）	大山 勝（鹿児島大）
菊池恭三（日大）	児玉 章（帝京大）	今野昭義（秋田大）	佐藤素一（帝京大）
佐藤良暢（城西歯大）	斎藤英雄（日大）	斎藤 等（京府大）	坂倉康夫（三重大）
鈴木淳一（帝京大）	馬場駿吉（名市大）	久松建一（日大）	兵 昇（京都市）
星野知之（浜松医大）	前坂明男（金沢大）	水越 治（京府大）	村上 彰（東京大）
八木聡明（帝京大）	山下公一（金沢医大）		

（敬称略、50音順）

昭和53年12月

医用エアロゾル研究会事務局

帝京大学医学部耳鼻咽喉科学教室内